

健康長寿と ホタル飛び交う ふるさとをめぐりて



令和4年7月号 山浦まち協だより



山浦地区の人口 508人
男性 234人
女性 274人
世帯数 198戸
(R4.6月末現在)



2022.7.15日発行
編集 山浦地区まちづくり推進協議会



七夕飾り

毎年恒例となっている7月7日の七夕祭りに、山浦愛育班、かけ橋のみなさまと山浦こども園児から七夕飾りを頂きました。「コロナに罹らず、元気で過ごせますように」など、長引くコロナ禍の影響で、家族みんなが健康でいられることへの願いや、「世界中が平和になりますように」などの思いが短冊に込められていました。

笹飾りに使われる竹は、成長が早いことから生命力の象徴として、またその葉は殺菌力が強いので古くから厄除けとして扱われてきたそうです。まさに、健康への願い事を託した短冊を飾るのにふさわしいと言えますね。

また、今年の夏は、全国的に平年より厳しい暑さが見込まれています。梅雨も早く明け、暑さのピークは7月後半と8月後半の2回あり、お彼岸の頃までは残暑が厳しくなる予想となっています。こまめな水分補給、十分な休憩やエアコンなどの空調を適切に使用して、体調管理に十分注意してください。

芋植え体験会



6月2日、山香こども園山浦分園の園児10名が、地元の方の畑を借りて、毎年恒例の芋植えを体験しました。地元民生児童委員の4名と一緒に、さつま芋の苗を一緒に植えました。秋に収穫し、収穫祭では、民生児童委員と焼き芋や石垣餅などを作る予定です。

竹の子狩り体験会



4月17日、山浦地区グラウンド上の竹林で、「竹の子狩り体験会」を開催しました。市内外から14名の参加がありました。約1メートルの竹の子を掘った大分市からの参加者は、「自然に憧れがあり素晴らしい体験ができた、山浦にまた来たい」と喜ばれていました。体験後、コミュニティセンターで用意された、竹の子づくしのお弁当を食べ、自分で掘った竹の子と、準備していた水煮の竹の子をお土産にして帰られました。皆さん大変喜ばれて来年の参加を楽しみにされていました。

この取り組みは、農家の高齢化によって管理できなくなった里山の拡大する有害鳥獣の被害を防止したり、地域資源を活用した所得・雇用を増大したりするを目的としています。

これからも、山浦地区の産業振興及び地域づくりの活性化並びに環境保全を目的とした取り組みを行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

”野草の里やまうら”体験会の開催



6月26日、「新おおいた旅割」を利用した、野草観察ツアーと特製野草お弁当の昼食会が開催されました。地元の野草ガイドと一緒に一時間半散策した後、昼食会では料理研究家の立松洋子先生が山浦の野草を使って作った野草弁当がふるまわれました。市内外より12名の方が参加され、山浦の自然を満喫されていました。昨年の秋に開催された「やまうらウォーク」や「竹の子狩り体験会」に参加されていた方も出席されていました。だんだん山浦のファンも増えてきているのはとても嬉しいことです。

この企画は、立松先生が山浦の野草の取り組みを応援していただき実現した企画です。5月14日にはコミュニティセンターで「野草料理アイデア講座(春編)」を開催していただきました、今年の秋にも開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。

猛暑日による熱中症に注意



【熱中症対策】

- ・こまめに水分と塩分を摂り続けることが重要です。

のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分・塩分などを補給すること

- ・暑さを避ける

扇風機やエアコンなどで温度をこまめに調整 ・ 遮光カーテンやすだれ

外出時は、日傘や帽子を着用 ・ 吸湿性や速乾性のある通気性の良い衣服を着用

(資料引用：厚生労働省より)

「もってえね～BOX」からお礼とご協力のお願い！

4月から6月までに皆さまより寄せて頂きました食材などを杵築市内の生活困窮者や山浦地区で会食支援して頂いてるグループへ配布させて頂きました。提供者を以下の通りご紹介させて頂きます。暖かいご支援・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

- ・本幡 政則様 (食材) ・佐藤 境子様 (野菜) ・土師 孝徳様 (健康具)
- ・青木 美香子様 (洗剤他)

まだ、継続していますので何卒よろしくお願いたします。

○今後の行事予定

8月に地域道路環境美化活動 (生活道路草刈りなど)

8月14日 (日) : 山浦地区合同供養・盆踊り

9月11日 (日) : 山浦地区「山浦よいとこ長寿まつり」

(新型コロナウイルスの発症状況にて中止もあります)